



2013年 2月22日(金) ~

3月 7日(木) の活動

○ 北陸地域懇話会

2月27日(水) 金沢市

第20回北陸地域懇話会を開催し、国土交通省からは、橋場北陸地方整備局長、和辻北陸信越運輸局長ほか計16名、当会からは、永原会長をはじめ32名が出席した。

永原会長は冒頭の挨拶で、「北陸新幹線の敦賀開業の早期実現」、「大阪までのフル規格全線整備」について国交省に支援を要請したほか、次年度活動方針の重点取り組みについて述べた。

当会からは、山崎社会基盤整備委員長が、「社会インフラ整備」について、加藤広域観光推進委員会副委員長が、「広域観光の推進」について話題提供を行った。

自由懇談では、「北陸新幹線：敦賀までの早期開業」「国土強靱化：北陸地域の公共事業の見通し」「日本海側拠点港：今後の港湾整備計画」「高規格幹線道路：ミッシングリンクの解消」「空港：今後の活用方策」などについて意見交換した。

(担当：小林)

○ 中部・近畿経済産業局との懇談会

3月 4日(月) 福井市

第19回中部・近畿経済産業局との懇談会を開催し、経済産業局からは、紀村中部経済産業局長をはじめ11名、当会からは、永原会長をはじめ31名が出席した。

永原会長は冒頭の挨拶で、「安全が確認された原子力発電所の再稼働は必要である」とし、現実的かつ戦略的なエネルギー政策の再構築を求めたほか、北陸新幹線の金沢開業を契機とした北陸の産業発展について述べた。

当会からは、水口常任理事が、「マッチング事業やコンバートEVなど産業振興」について、藤本理事が、「ASEAN諸国への拡大を視野に入れた調査・研究や、企業の国際化に向けた勉強会など国際経済交流の推進」について、活動報告を行った。

自由懇談では、「欧州エネルギー視察を踏まえた日本のエネルギー政策」、「次世代ロボット研究への支援」、「北陸・韓国経済交流会議への協力」、「新産業創出に向けた取組み状況」、「海外からの企業誘致の取組み状況」、「国際ビジネス人材の育成」などについて意見交換した。

(担当：伊東)

○ AJEC 20周年記念シンポジウム

2月22日(金) 金沢市

AJEC 20周年記念シンポジウムを開催し、180名が参加した。

永原会長の挨拶の後、第1部の基調講演では、経済産業研究所 藤田昌久所長が「グローバル時代における地域活性化のあり方」と題し講演した。空間経済学の観点から、グローバル展開の必要性や、独自の集積をもった豊かな地域育成の重要性、北陸が日本海側の表玄関として、豊かな地域になる可能性を十分に有していることなどを述べた。

第2部では、立山マシン(株) 宮野社長、(株)加賀屋小田会長、日華化学(株) 江守社長、中部経済産業局 紀村局長、福井県立大学 丸屋教授を迎え、パネルディスカッションを開催した。海外展開事例や北陸企業等の海外進出における現状の紹介と、北陸AJECの今後に対する意見・要望、および、昨今の世界情勢に変動や企業ニーズに対応すべく、対象エリアにASEANを追加すべきとの意見があった。

閉会にあたり、発足当初より北陸AJEC企画部会委員長を務める金沢大学 山村名誉教授が挨拶を行った。

その後、懇親交流会を開催し、90名が参加した。

(担当：石村)

○ 北陸トレイン「北陸うまいもの号」

—動く北陸フォーラム・北前船列車—

2月23日(土) 鎌倉市

神奈川県鎌倉市において、標記イベントを開催した。

江ノ島電鉄の鉄道車両を貸切り、車内で北陸特産の食べ物や地酒を振舞いながら北陸の魅力をPRした。また、江ノ電鎌倉駅構内に北陸PRブースを出展し、北陸の地酒、特産品を振る舞った。

貸切り電車は、鎌倉—藤沢間の約20kmを約1時間10分かけて往復した。鎌倉駅で行われた出発式では、松尾鎌倉市長、鈴木藤沢市長、深谷江ノ島電鉄社長、遠藤鎌倉市観光協会専務理事、北陸3県観光連盟専務理事、水野北経連専務理事らがテープカットを行った。

電車には、応募で集まった沿線住民ら40人の他、招待者、スタッフほか60名が乗車。北陸特製弁当の他「ますの寿司」、「かぶら寿司」、「焼き鯖寿司」など三県の特産物や地酒を楽しんだ。

車内では、食連携コーディネーターで金沢星陵大学の谷本互講師による食の解説や、自治体職員(氷見市、金沢市、あわら市)によるPR、北陸クイズ大会も行われた。

(担当：吉井)

○ 先端技術推進委員会

2月26日(火)

金沢市

標記委員会を開催し、水口委員長はじめ10名の委員が出席した。今年度の事業報告および次年度事業計画案について審議し、他団体との連携強化による効果的なマッチング活動の展開や、北陸の産業創出に向けた新たな研究会の検討など、今後の事業について意見交換した。

委員会終了後、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株の吉本 陽子 主任研究員が「国内のものづくり基盤強化とグローバル競争に勝ち抜く事業戦略のあり方」と題して講演し、北経連会員等51名が聴講した。

(担当：岩田)

○ 高信頼システム情報交換会

3月6日(水)

福井市

北陸先端科学技術大学院大学、(一財)北陸産業活性化センターとの共催で、標記の情報交換会を開催した。(株)NTTドコモの廣兼 実俊 北陸支社長が、「スマートフォン・タブレットをめぐる最新動向」と題して講演し、北陸の企業など44名が参加した。

講演後のフリーディスカッションでは、ビジネスにタブレットを導入する際の留意点や災害時などの通信量増大に対応するインフラ整備等について意見交換した。

(担当：岩田)

お知らせ

○「次世代ロボット研究会・北陸」技術展示会

作業支援・サービス用途ロボットの实用化を促進するため、研究会メンバーの試作機を多数展示し、研究・技術シーズを紹介する行事を開催する。

日時 3月28日(木) 13:40~17:00

会場 金沢工業大学 FMT研究所

(白山市八東穂 3-1 石川ワトリサーチパーク内)

内容 [①13:40~, ②14:50~, ③16:30~]

①講演：ユーザーから求められる支援機器開発設計のあり方(石川県リハビリテーションセンター 北野 義明 氏)

②次世代ロボットに関する研究・技術の紹介
(大学研究者等の試作機の展示・説明)

③交流会(自由懇談)

詳細は <http://www.hokkeiren.gr.jp/STC/> を参照

※参加費無料 TEL:076-265-8656 (担当：岩田)

○「新幹線これからのとやま」開催

富山県は、平成26年度末の北陸新幹線開業に向け、県民の機運をさらに高めるため、開業2年前イベントを開催する。

日時 3月24日(日) 14:00~16:00

会場 ウイング・ウイング高岡

生涯学習センターホール

トークショー シンガーソングライター 高原 兄さん

詳細は、下記URL参照 ※参加費無料

<http://www.toyama-shinkansen.jp>

○構造改革特区・地域再生の提案募集要項

内閣官房 地域活性化統合事務局では、構造改革特別区域法に基づく新たな規制の特例措置及び地域再生法に基づく地域再生の推進に資する新たな税制・財政・金融上の支援措置等の提案を募集する。

募集期間 3月15日(金)~4月15日(月)まで
詳細は、下記URL参照

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kouzou2/>

[お問合せ先]

内閣官房 地域活性化統合事務局

構造改革特区・地域再生提案募集担当

TEL. 03-5510-2468

メール toc@cas.go.jp

今後の主な活動予定

□ 4月22日(月)

第321回 常任理事会

<金沢ニューグランドホテル>

○北経連トピックNo.101(H23.6.2発行分)より、
当連合会HPに掲載しております。
バックナンバーのお問い合わせは大嶋まで。
(TEL076-232-0472)

※ 当連合会では、新規会員を募っております。
会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声を
かけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。
(TEL076-232-0472)